

さいたま市防災カルテ

泰平中学校区

①学区の概況と課題

◆学区の概要

- 【位置】見沼区の北西部に位置し、隣接している北区を跨いでいる。
- 【土地利用】学区内には住宅地が広がっており、中央部西寄りと北部に団地がある。
- 【交通】学区の北東部に県道5号、北西部に新幹線が走っている。

◆学区の位置



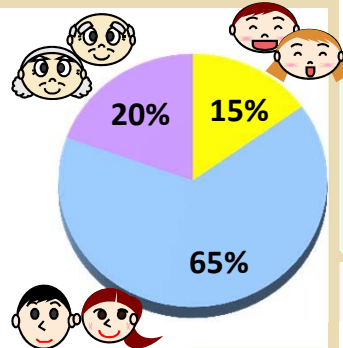
◆学区内被害想定結果

地震	さいたま市直下地震	関東平野北西縁断層帯地震	東京湾北部地震			
最大震度	6弱 (5.9)	6強 (6.0)	5強 (5.3)			
最小震度	6弱 (5.7)	6弱 (5.8)	5強 (5.1)			
死者	4人 (0.0%)	5人 (0.0%)	0人 (0.0%)			
負傷者	48人 (0.3%)	59人 (0.4%)	3人 (0.0%)			
避難者	482人 (3.1%)	652人 (4.2%)	12人 (0.1%)			
全壊建物棟数	99棟 (2.6%)	139棟 (3.7%)	0棟 (0.0%)			
うち焼失棟数	28棟 (0.7%)	35棟 (0.9%)	0棟 (0.0%)			
半壊建物棟数	383棟 (10.1%)	449棟 (11.9%)	24棟 (0.6%)			
水害	荒川	利根川	江戸川	芝川等	綾瀬川等	鴨川等
床上浸水建物棟数	0棟	0棟	0棟	348棟	0棟	0棟
床下浸水建物棟数	0棟	0棟	0棟	312棟	0棟	0棟

※震度のカッコ内は計測震度を、それ以外のカッコ内は学区内の比率を示す。

◆人口概況 (平成22年国勢調査)

	泰平中学校区	全市平均
総人口	15,488人	
人口等		
0-14歳	2,334人 (15%)	(14%)
15-64歳	10,134人 (65%)	(67%)
65歳以上	3,021人 (20%)	(19%)
人口密度	7,312人/km ²	5,766人/km ²



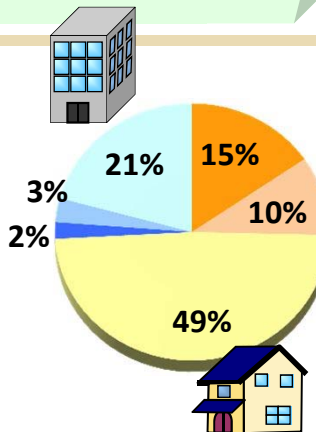
- 【地震】関東平野北西縁断層帯地震では最大震度6強となっているが、全壊・半壊の合計は15%程度と、他の地域と比べて**相対的には危険度は低い**。
- 【水害】芝川が氾濫した場合、**地区の15%以上が浸水被害**を受ける。

◆防災関連施設情報 (平成26年2月時点)

種別	名称
避難場所	泰平中学校、泰平小学校、見沼小学校、県立大宮工業高等学校
一時・広域避難場所	本郷第1公園、本郷第3公園、本郷第4公園、東北原公園
市・区役所等窓口	東大宮支所
消防署・出張所	東大宮出張所
警察署・交番	本郷交番
救急病院	
緊急給水場所	東大宮浄水場

◆建物概況 (平成23年度さいたま市都市計画基礎調査)

	泰平中学校区	全市平均
総建物棟数	3,789棟	
建物		
木造(昭和46年以前)	583棟 (15%)	(17%)
木造(昭和47-55年)	378棟 (10%)	(12%)
木造(昭和56年以後)	1,849棟 (49%)	(45%)
非木造(昭和46年以前)	78棟 (2%)	(1%)
非木造(昭和47-55年)	114棟 (3%)	(3%)
非木造(昭和56年以後)	787棟 (21%)	(21%)



◆被害想定結果からわかる防災上の主なポイント

- 【水害】地域に水害の危険性が高いエリアがあり、迅速な情報伝達体制や、自主防災組織等による**安全な避難体制の構築が必要**。
- 【その他】河川沿いにおいて比較的液状化の危険度が高い。

人口割合は全市平均とほぼ同等である。

建物の割合は全市平均とほぼ同等である。

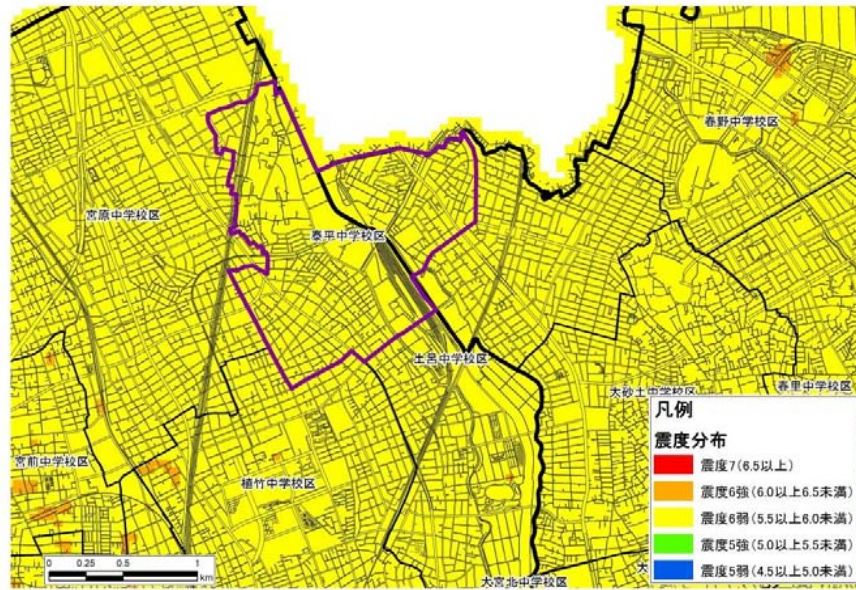
本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話合ってみましょう。

②さいたま市直下地震の想定 **さいたま市防災カルテ**

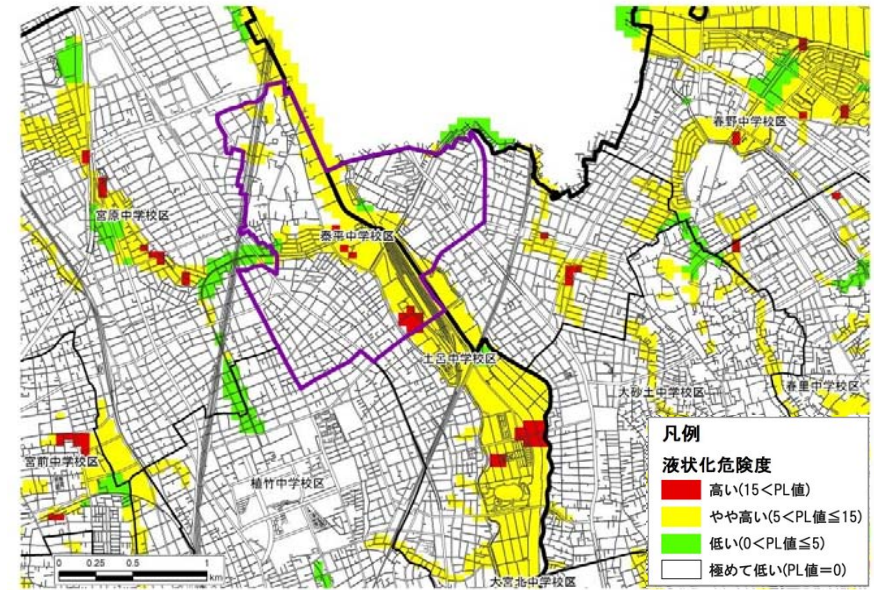
泰平中学校区



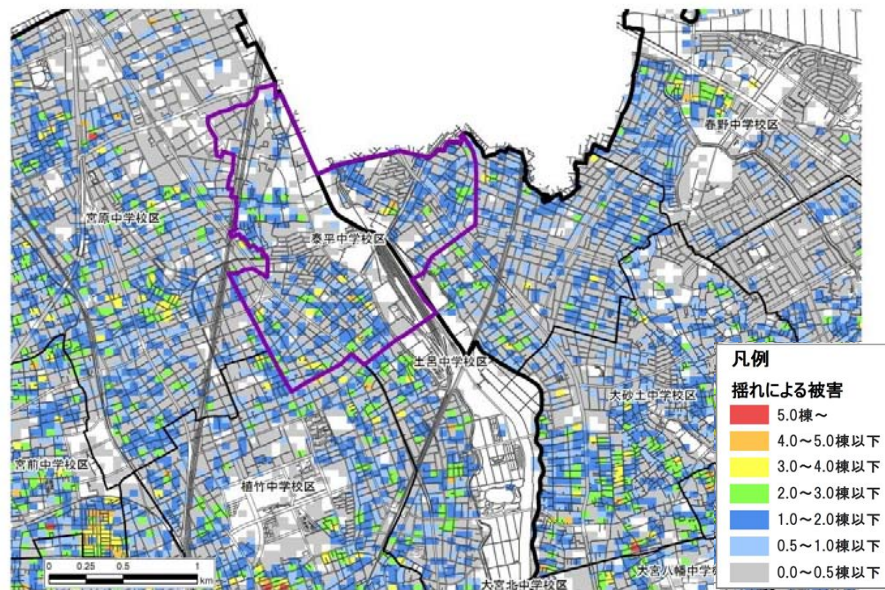
震度分布図



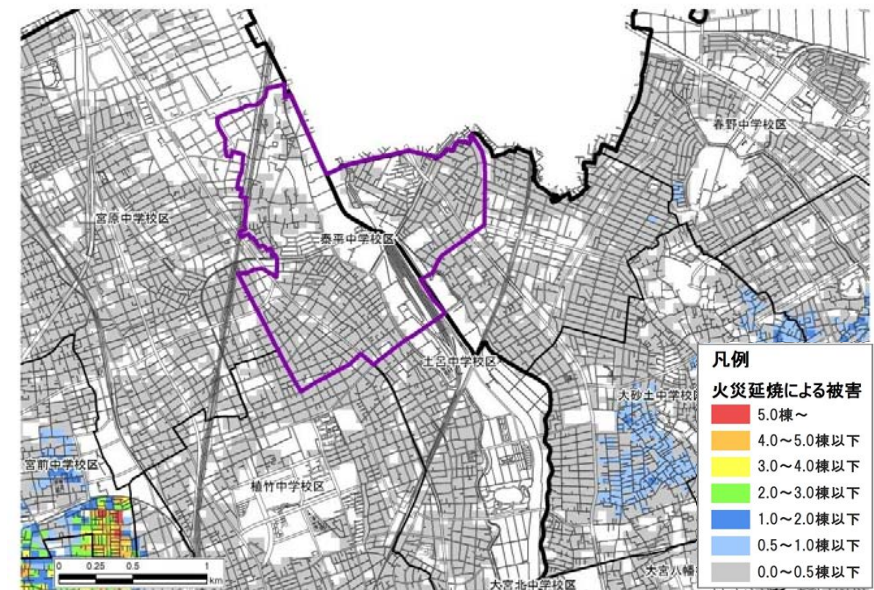
液状化危険度分布図



建物被害分布図（揺れによる被害）



建物被害分布図（火災延焼による被害）

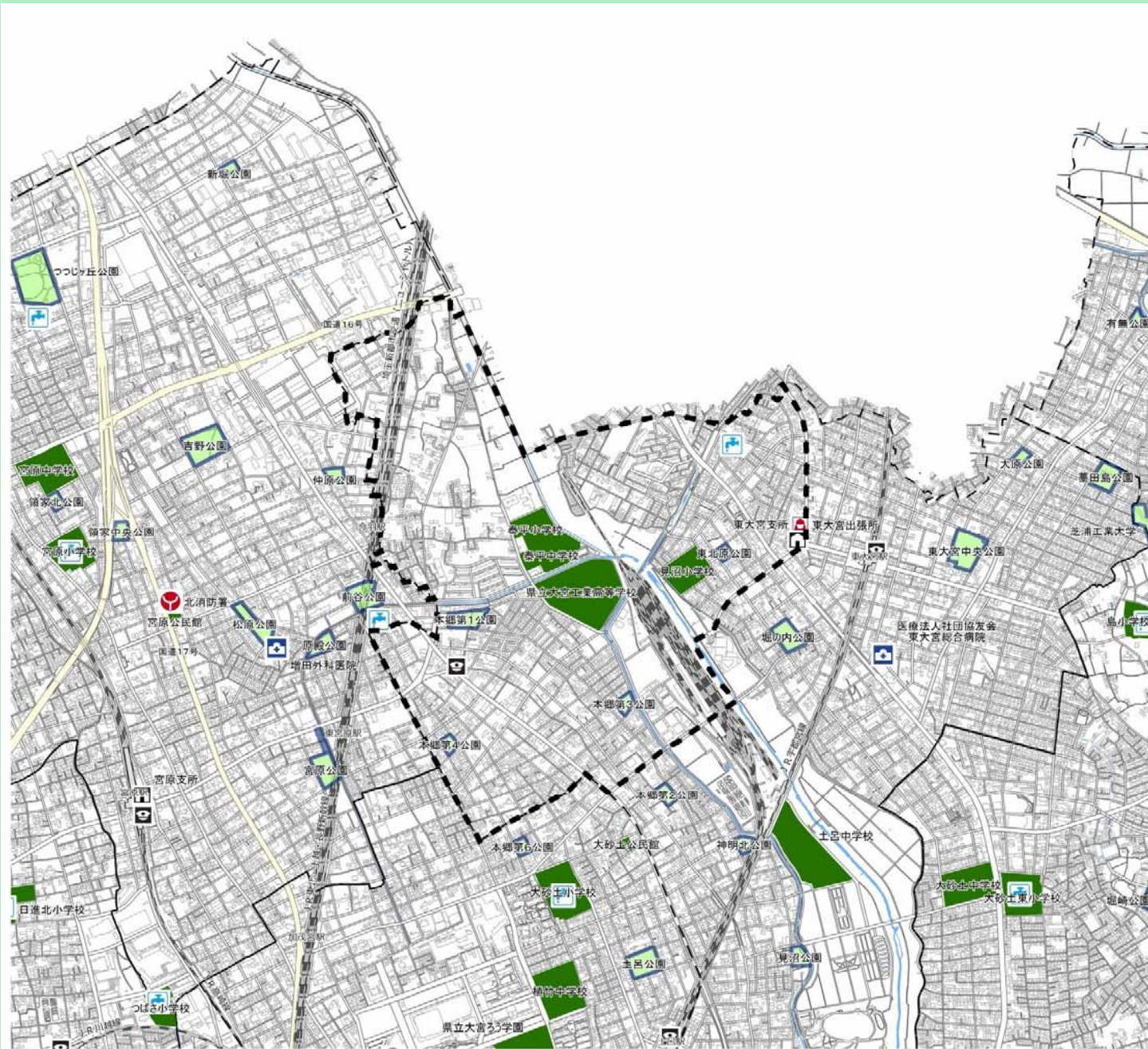


本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話してみましょう。

③防災マップ

さいたま市防災カルテ

泰平中学校区



凡例

	避難場所		消防署
	一時避難場所		消防署(出張所)
	広域避難場所		警察署
	市役所		交番・駐在所
	区役所		救急病院
	支所・市民の窓口		応急給水場所

(平成26年2月時点の情報で作成)

メモ欄

